

増やして、整備箇所を要望の
せめて2割程度にできない
か。

A 森田 まちづくり課長

各地区からの要望を主に実
施しており、平成28年度は大
方地域で2千万円、佐賀地域
で1千万円予定している。

大方地域の要望は、300
件を超えるが、対応は約23
件の状況で、すべてまでは対応
できない状況となっている。



森田 まちづくり課長

A 今西 建設課長

佐賀地区の同事業には、毎
年100件以上挙がつてきて
いる。1件、かなりの金額で
施工している箇所もあり、10
数件を対応している。



今西 建設課長

A 大西 町長

現在、連年積極予算が続い
ており、本年度は通常どおり
の予算計上させて頂いた。特
にこの事業は住民の皆さんか
ら喜ばれる事業なので、この
2年間のピークをクリアした
後に、議会にも相談をし、検
討させて頂きたい。

■町道整備事業

4億8783万円

■県の道路整備工事負担金

1745万円

■公共交通バス補助金

3724万円

■高規格道路の工事用道路整備

2088万円

■集落活動センター事業費

3827万円

平成28年度には、町内3カ
所目となる蜷川地区での集落
活動センターの設置を計画し
ており、その経費も含めて3
施設の運営費用。



集落活動センターの設置計画がある旧蜷川小学校

■地域おこし協力隊員報酬

1345万円

Q 宮地 葉子議員

地域おこし協力隊員の報酬
は、何人分ほどの地域に入る
のか。またその期間は。

A 武政 総務課長

人数は6人分。現在、蜷
川集落の地域協議会へ1名、
庁舎内に籍を置く移住相談員
と広報担当各1名の3名に加

え、新たに平成28年度から取
組むスポーツ振興の担当1
名。蜷川に新たに設置する集
落活動センターの支援員1
名。そして、ふるさと納税の
担当1名の3名を予定。

地域おこし協力隊の期間は
全員3年間となっている。



武政 総務課長

■移住者支援事業

3264万円

移住者向けのお試し住宅の
改修費など。

Q 中島 一郎議員

この移住促進の新しい事業
の内容は。

A 武政 総務課長

町が空き家を10年間借り受
けて、耐震化や水回りの改修
などをして移住者の方に住宅
の提供をするというもの。

■園芸用ハウス整備事業補助
金 5141万円

■青年就農給付金「経営開始
型」 1575万円

Q 森 治史議員

前記2件の内容は。

A 門田 産業推進室長

園芸用ハウス関連は、県と
町よりの補助金で、その内容
は、以前のレンタルハウス整
備事業と同様でハウスの整備
と震災対策の防油堤が含まれ
ている。それぞれ補助率があ
り、平成28年度には4人の方
が手を挙げている。

青年就農給付金は、45歳未
満の新規就農者への補助で、
営農開始から最長5年間、所
得が250万円以下の方に、
年間150万円を補助する。
平成28年度には、継続交付
9人と、新たに2人の計11名
分を計上している。

■有害鳥獣被害防止対策事業

2809万円

イノシシやシカなどの有害
鳥獣対策費。